

患者向医薬品ガイド

2023年12月作成

フェンタニル 1 日用テープ 0.84mg 「ユートク」
フェンタニル 1 日用テープ 1.7mg 「ユートク」
フェンタニル 1 日用テープ 3.4mg 「ユートク」
フェンタニル 1 日用テープ 5mg 「ユートク」
フェンタニル 1 日用テープ 6.7mg 「ユートク」

【この薬は？】

販売名	フェンタニル 1 日用テープ 0.84mg 「ユートク」 FENTANYL Tapes for 1day 0.84mg“YUTOKU”	フェンタニル 1 日用テープ 1.7mg 「ユートク」 FENTANYL Tapes for 1day 1.7mg“YUTOKU”	フェンタニル 1 日用テープ 3.4mg 「ユートク」 FENTANYL Tapes for 1day 3.4mg“YUTOKU”	フェンタニル 1 日用テープ 5mg 「ユートク」 FENTANYL Tapes for 1day 5mg“YUTOKU”	フェンタニル 1 日用テープ 6.7mg 「ユートク」 FENTANYL Tapes for 1day 6.7mg“YUTOKU”
一般名	フェンタニル経皮吸収型製剤 Fentanyl				
含有量 (1 枚中)	フェンタニル 0.84mg	フェンタニル 1.7mg	フェンタニル 3.4mg	フェンタニル 5mg	フェンタニル 6.7mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、持続性のがん疼痛治療剤と呼ばれるグループに属する貼り薬です。
- ・この薬は、皮膚を通して少しずつ体内に吸収され、痛みを伝える神経組織や痛みの中枢に働きかけ、痛みをやわらげます。
- ・この薬は次の目的で処方されます。

非オピオイド鎮痛剤及び弱オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記疾患における鎮痛（ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合には限る。）
中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛

注）オピオイド鎮痛剤：医療用麻薬（モルヒネなど）

- ・この薬は、自己判断で使用を中止したり、量を加減したりすると本来の効果が得られないことがあります。指示どおりに使用することが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬は貼っている部位の温度が上がると過量に体内に吸収され、重篤な副作用を引き起こすおそれがあります。この薬を使用している間は、外部熱源（電気パッド、電気毛布、加温ウォーターベッド、赤外線灯、こたつ、集中的な日光浴、サウナ、湯たんぽなど）への接触、熱い温度での入浴等を避けてください。【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】をよくお読みください。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にフェンタニル1日用テープ「ユートク」に含まれる成分（フェンタニル）で過敏症のあった人
 - ・ナルメフェン塩酸塩水和物を飲んでいて、または飲むのをやめてから1週間以内の人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・慢性肺疾患などの呼吸機能に障害のある人
 - ・喘息の人
 - ・徐脈性不整脈のある人
 - ・肝臓や腎臓に障害がある人
 - ・頭蓋内圧の亢進、意識障害・昏睡、脳腫瘍などの脳に器質的な障害のある人
 - ・40℃以上の発熱がある人
 - ・過去に薬物依存のあった人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用してはいけない薬[ナルメフェン塩酸塩水和物（セリンクロ）]や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

1 回に複数枚使用することもあります。

通常、成人では、1 回貼ると 1 日（約 24 時間）効果が持続しますので、1 日ごとに貼り替えます。使用中のテープを貼ったまま新しいテープを貼らないでください。

痛い場所に貼るのではなく、胸、腹、上腕、または大腿部のいずれかの部位にテープを貼ってください。

●どのように使用するか？

- ・貼る時まで、外袋を破らないでください。
- ・このテープをハサミなどで切って使用しないでください。また、傷ついたテープは使用しないでください。
- ・あらかじめ貼る部位を乾いたタオルなどでよく拭いてください。
（水分や汗でぬれているとうまく貼れません）
- ・貼る直前に、石けん、アルコールやローションなどを貼る部位に使用しないでください。



1) 外袋を手で破ります。

外袋の端の切り込み部位からまず①ヨコに、次に②タテに 2 カ所破ってください。

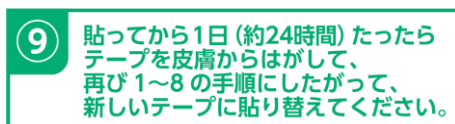
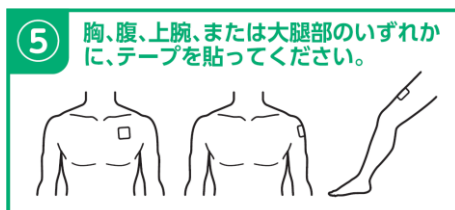
2) 外袋をあけて中のテープを取り出します。

外袋をめくって、テープを取り出してください。テープを引っ張り出さないでください。

3) テープの表面にボールペンや油性マーカーペンなどで貼る日にちと時間を記入してください。

1 日（約 24 時間）たったら新しいテープに貼り替えます。

貼った日時を忘れないように、テープに日にちと時間を記入してください。



4) テープには透明なフィルム（ライナー）がついていますので、使用時に半分あるいは真ん中部分をはがしてください。

含量により透明なフィルム（ライナー）のS字型の割線が異なります。透明なフィルム（ライナー）をテープからはがしたら、粘着面には触れないでください。粘着面に触れると粘着力が弱まります。

5) 胸、腹、上腕、または大腿部のいずれかに、テープを貼ってください。

体毛が濃い場合はハサミで短くカットしてください。
カミソリは使用しないでください。傷や炎症などのある部位には貼らないでください。

6) 透明なフィルム（ライナー）の残りをはがして貼ります。

透明なフィルム（ライナー）を取り除いたテープの部分に皮膚に貼り、次いで残りの透明なフィルム（ライナー）を全部はがし取ります。

7) 貼った後、テープの上から手のひらで30秒間しっかりと押さえます。

はがれそうなときは、再度手のひらで押さえたり、ばんそう膏などで縁を押さえてください。

8) テープを貼り終わったら、水道水で手を洗ってください。

石けん、アルコール、ローションなどは使用しないでください。

9) 貼ってから1日（約24時間）たったらテープを皮膚からはがして、再び1～8の手順にしたがって、新しいテープに貼り替えてください。

・ かゆみやかぶれを防ぐために、貼る部位を毎回変えてください。

●はがれた場合の対応

テープがはがれそうなときは、再度、手で押しつけてください。

テープがはがれた場合は、直ちに同用量の新しいテープに貼り替えて、はがれたテープの貼り替え予定時刻まで貼ってください。

●貼り忘れた場合の対応

2回分を1度に貼ってはいけません。貼り忘れや1日を超えたにもかかわらず貼り替えていないことに気がついたら、すぐにテープをはがし、新しいテープに貼り替えてください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

重篤な換気低下（息苦しい、息切れ）があらわれることがあります。このような症状があらわれたらすべてのテープをはがし、ただちに受診してください。また、家族の方はこのような症状があらわれたらゆり動かしたり話しかけたりして目をさまさせておいてください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を使用するにあたって患者さんや家族の方は副作用、使用方法などを十分理解できるまで説明を受けてください。
- ・呼吸抑制や意識障害などの症状があらわれた場合は、ただちに医師に連絡してください。
- ・他の鎮痛剤からこの薬へ切り替えた直後に、吐き気、嘔吐（おうと）、眠気、めまいなどの副作用があらわれることがありますが、これらの症状は時間の経過とともに少なくなります。
- ・急に薬を減量したり使用をやめたりすると、嘔吐（おうと）、下痢、不安、振戦、悪寒などがあらわれることがあります。
- ・この薬は、発熱や激しい運動によって体温が上がると体内へ吸収されやすくなります。その結果、重篤な副作用を引き起こす可能性があります。この薬を貼っている部位が電気パッド、電気毛布、加温ウオーターベッド、赤外線灯、湯たんぽ、こたつなどの熱が発生しているものに接しないようにしてください。
- ・集中的な日光浴、サウナは控えてください。
- ・熱いお風呂に長時間入浴することはテープを剥がしていても避けてください。
- ・眠くなったりめまいがおこったりすることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作はしないでください。
- ・テープが他の人に貼り付かないように注意してください。他の人にテープが付いたら、直ちにテープをはがし、付いた部位を水道水で洗ってください。
- ・この薬による治療は病気の原因に対して行われるものではなく、症状を軽減するために行われるものです。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳中の人は、授乳を避けてください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
依存性 いぞんせい	ある薬を摂取したいと強く思いコントロールが出来ない、手足のふるえ、発汗、幻覚、不眠
呼吸抑制 こきゅうよくせい	呼吸回数が減る、呼吸が浅くなる
意識障害 いしきしょうがい	意識の低下、意識の消失
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発汗、冷汗が出る、ふらつき、顔や手足の筋肉がぴくつく
頭部	ある薬を摂取したいと強く思いコントロールが出来ない、幻覚、不眠、意識の低下、意識の消失、めまい、一時的にボーっとする
顔面	顔面蒼白
口や喉	喉のかゆみ
胸部	呼吸回数が減る、呼吸が浅くなる、動悸、息苦しい
手・足	手足のふるえ、手足が冷たくなる、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹

【この薬の形は？】

販売名	フェンタニル1日用 テープ0.84mg 「ユートク」	フェンタニル1日用 テープ1.7mg 「ユートク」	フェンタニル1日用 テープ3.4mg 「ユートク」
形状			
	角の丸い四角形の 貼付剤	角の丸い四角形の 貼付剤	角の丸い四角形の 貼付剤
大きさ (縦×横)	20.1mm×20.1mm	28.2mm×28.6mm	39.8mm×40.3mm
色	微黄色半透明（膏体面）		

販売名	フェンタニル1日用テープ 5mg「ユートク」	フェンタニル1日用テープ 6.7mg「ユートク」
形状		
	角の丸い四角形の貼付剤	角の丸い四角形の貼付剤
大きさ (縦×横)	49.2mm×48.9mm	56.7mm×56.6mm
色	微黄色半透明（膏体面）	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	フェンタニル
添加剤	(膏体) スチレン・イソプレン・スチレンブロック共重合体、テルペン樹脂、流動パラフィン、ジブチルヒドロキシトルエン、その他3成分 (支持体) ポリエチレンテレフタレート/エチレン酢酸ビニル共重合体 (ライナー) ポリエチレンテレフタレートセパレータ

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・この薬を使用するまでは包装を開けずに保管してください。
- ・直射日光と湿気を避け室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・この薬を他人に渡すことは、法律で禁じられています。
- ・使わずに残ったテープは、病院または薬局に戻してください。

●廃棄方法は？

- ・テープの粘着面を内側にしてふたつ折りにたたんだ後、廃棄してください。
- ・子どもやペットがさわらない場所に廃棄してください。使用済みのテープにも薬が残っているので、子どもやペットに重大な影響（呼吸抑制や意識障害など）を起こすおそれがあります。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：祐徳薬品工業株式会社 (<https://www.yutokuyakuhin.co.jp/>)

お客様相談窓口

電話：0954-63-1320

受付時間：9:00～17:00

（土・日・祝日・会社休日を除く）